

「けれども、私たちの国籍は天にあります。そこから主イエス・キリストが救い主としておいでになるのを、私たちは待ち望んでいます。」ピリピ 3:20 毎年2月5日は、日本26聖人の歩みに感動し、その歩みから多くを学ぶために26聖人のレリーフのある前の広場で長崎殉教記念聖会が持たれました。全国から集まられた方々と共にその恵みにあずかり、インターネットで全世界にその様子が放映されました。

天に届く透き通るような声で捧げられた賛美を皮切りにメッセージが語られました。何故26聖人がこのような素晴らしい殉教ができたのか？私たちとはかけ離れた偉人だったのでしょうか？メッセージャーも殉教ということにある覚悟と悲壮感をもってここにやってきたそうです。しかしそこで触れたのは、雨がちのどんよりしていた天候にもかかわらず、実に“爽やか”な思いだったそうです。彼らは喜んでいて！ということが分かり、深い主の御臨在に触れ喜びが心から溢れてきたそうです。何故喜んでいたのでしょか？それは彼らが死が終わりではなく、死のかなたに死も涙も悲しみもない永遠の世界、天国があることを知って、すでにその喜びの中に生きていたからでしょう。単純に幼子のように神の言葉を信じ天国(天のエルサレム)が自分の本当の故郷であり、真の報いがここにあることを知っていたのです。彼らは決して特別の人達であったのではなく、主が彼らと共におられ、主がなされたわざで、もし私たちと共におられたなら、私達にもできるのだと語られました。

私たちは何の価値もない土で造られましたが、しかも罪を持っているために踏みつけられ、醜く捨てられても良いような存在にもかかわらず、神が目止めて、私たちの身代わりにその罰を受け、十字架にかかって死んでくださったほどに、愛されている存在です。

「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。」

日本やアメリカ、中国があるように天のみ國(天のエルサレムともいわれますが、)があり、主イエス、キリストを信じている人はそこに生きる者で、永遠に住む所で国籍がここにあります。26聖人は素晴らしい証をして天にあげられましたが、今天にいていずれ私たちは天で彼らに会うでしょう。彼らが良い証しをして、模範を示してくださったことを感謝しましょう。そして私たちもまた彼らの信仰を学び、この世における使命を全うすることが出来ますように。そして天において報いられる働きができますように！！祈ってゆきましょう。

信仰の強さ示した殉教者

The Light of Eternal Agape FRH Church

FRH (天に登録されている長子たちの教会) Church of the Firstborn who are

Registered in Heaven

主任牧師: イエス・キリスト ノア勝裕&和子



Siloam 2019年2月10日 No.1037



(シロアム: 遣わされた者 ヨハネ 9:7)

ところが、良い地に蒔かれるとは、みことばを聞いてそれを悟る人のことで、

その人はほんとうに実を結び、

あるものは百倍、あるものは六十倍、あるものは三十倍の実を結びます。

マタイ 13:23

♪ God is working for my good , now, for my good , for my good ,

God is working for my good ,Yes,You really are! ♪

<http://astone-blog.jp/tleafrh/>